

プレスリリース: 2016年01月27日  
トピック: サーバー/ストレージ/ネットワーク

## 日本ヒューレット・パッカード、ハイブリッドインフラ向け次世代システム「HPE Synergy」を発表

- コンピュート、ストレージ、およびネットワークファブリックを物理的に集約しコンポーザブル・インフラストラクチャを実現 -

2016年1月27日

日本ヒューレット・パッカード

日本ヒューレット・パッカード株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役 社長執行役員:吉田 仁志、以下 日本ヒューレット・パッカード)は、物理と仮想の混在環境や、オンプレミスとクラウドが共存する“ハイブリッドインフラ”の有効活用を求める企業や組織を対象に、サーバー、ストレージ、ネットワークなどを可変的なリソースプールとして捉え、多様なワークロードに最適なリソースを自由に切り出し、組み立てる「コンポーザブル・インフラストラクチャ」を実現し、クラウドネイティブなアプリケーションや既存の基幹系アプリケーションの双方を実行するために設計されたプラットフォーム「HPE Synergy」(エイチピーイー シナジー)を発表します。

「HPE Synergy」は世界初のコンポーザブル・インフラストラクチャ製品でコンピュート、ストレージ、ネットワークファブリックを統合し、そのリソースを自由に組み合わせ、ワークロードごとに最適化されたシステムを複数の筐体で構成されたリソースプール上に構築できます。物理環境、仮想サーバーおよびコンテナ等に対応し、ワークロードが異なるクラウドネイティブなアプリケーションと既存の業務アプリケーションを最適に統合します。

画期的な新しいインフラとして開発された「HPE Synergy」は、可変的なリソースプール(Fluid Resource Pool)、ソフトウェアをフル活用した管理環境の提供(Software Defined Intelligence)、そして単一の統合API(Unified API)を活用し、リソースを最適な形で組み合わせるための取り組みを続ける企業や組織にその基盤を提供します。企業はこれにより、クラウドネイティブなアプリケーションをオンプレミスの環境に迅速に展開して新しいビジネスを短期間でスタートさせたり、既存の業務アプリケーションを安定的に低コストで運用することが、ひとつのITインフラ上に共存可能になります。

「HPE Synergy」は、コンピュート、ストレージ、ネットワークスイッチの主要モジュールと各種アダプターを様々なアプリケーションと用途に応じて単一または複数のフレーム(筐体)に収納し、コンポーザブル・インフラストラクチャを構成できるよう設計されています。いずれも自動検出が可能で、迅速に配備でき、管理が容易で柔軟に構成・再構成できるリソースを提供します。

主な新製品の特長は以下の通りです。

### <HPE Synergy 480 Gen9コンピュートモジュール>

Intel® E5-2600 v3プロセッサ用の2ソケットを実装する、ハーフハイトフォームファクターで、要求の高いワークロードに対応する優れたキャパシティ、効率性および柔軟性を提供します。「HPE DDR4 SmartMemory」は、最大で1.5TB、柔軟なストレージコントローラーオプション、3つのI/Oコネクタをサポートしており、コンポーザブル・インフラストラクチャ内の柔軟なコンピュートキャパシティのプールを作成するよう設計されています。

「HPE Synergy 480 Gen9コンピュートモジュール」は、汎用的なエンタープライズワークロードに、今もそして将来も最適なプラットフォームです。用途に応じた4種類のコンピュートモジュールが用意されています。

### <HPE Synergy D3940ストレージモジュール>

コンポーザブル・インフラストラクチャに対応した可変的なストレージリソースプールを提供します。コンピュートモジュールへの容量追加は、簡単に配備でき、統合されたデータサービスによって管理され、可用性と保護が確保されます。

1ストレージモジュールあたり40のSFFドライブベイを持ち、12G SASまたは6G SATAドライブを取り付けることができます。1つの「HPE Synergy 12000フレーム」内には計5つのストレージモジュールを搭載することができ、合計最大200台までSFFドライブを拡張できます。比率を固定することなく容量を効率的に使用するため、すべてのドライブベイを任意のコンピュートモジュールにゾーニングできます。

また「HPE StoreVirtual VSA」を使用することにより、複数のフレームを対象とする仮想化されたソフトウェアデファインドのストレージリソースを作成できます。「HPE Synergy D3940 I/Oアダプター」が、ストレージモジュール内のディスクへの冗長パスを提供し、データの高可用性を実現します。

### <HPE FlexFabric 40Gb F8 スイッチモジュール>

コンポーザブルファブリックをベースとした「HPE FlexFabric 40Gb F8スイッチモジュール(マスターモジュール)」は、コンポーザブル・インフラストラクチャ向けに分散型ラック規模での拡張を見越した設計が施されており、マスター / サテライトアーキテクチャーを使用して、データセンターネットワーク接続を統合し、ハードウェア数を削減し、複数のフレーム間のネットワーク帯域幅を拡張します。

「HPE FlexFabric 40Gb F8スイッチ」のマスターモジュールは、インターコネクトリンクモジュールを介して、接続をサテライトフレームまで拡張する管理スイッチネットワーク機能が含まれており、これによりToRスイッチを不要にしコストを大幅に削減することができます。スイッチコンポーネントを削減すると、データセンター内ネットワークの集約層で使用するポートが少なくなると同時に、ファブリック管理が簡素化されます。

#### <HPE Synergyコンポーザー>

様々なワークロードに最適化されたコンピュート、ストレージ、ファブリックリソースの可変的なプールを、構成および再構成するための理想的なインフラストラクチャ管理を実現します。

「Infrastructure as Code(インフラストラクチャーのアプリケーションコード化)」は、一貫したガバナンス、コンプライアンス、および統合により、アプリケーションとサービスのオンデマンドなデリバリーとサポートを提供。インフラストラクチャーの管理方法を根本から変革します。

また、ソフトウェアデファインドアーキテクチャーにより、あらゆる「HPE Synergy」リソースを自動的に検出し自動的に取り込むことで、テンプレート主導型の運用が即座に実現します。本機能により、運用の速度、効率、信頼性が向上します。

単一のインターフェイスと単一の統合APIからインフラストラクチャを展開、監視、アップデートできるため、IT部門は、従来の環境、仮想化された環境、およびクラウド環境にインフラストラクチャを展開できます。さらに、サービスを中断することなくスムーズにリソースをアップデートし、柔軟性を高め、再配置することができます。

#### <HPE Synergyイメージストリーマー>

迅速にイメージアプリケーションを変更し、コンポーザブル・インフラストラクチャーのニーズを満たすためのリソースを提供します。超高速で物理コンピュートノードを運用環境に導入およびアップデートして、高速な起動や仮想化イメージの変更、およびイメージコンプライアンスを実現するため、「HPE Synergyコンポーザー」のソフトウェアデファインドインテリジェンスが統合されています。

ソフトウェアデファインドインテリジェンスは、テンプレート形式で操作・統合されるため、アプリケーションやサービスは迅速に配信されます。導入とアップデート用の可用性の高いインフラストラクチャは自動的に統合され、簡単に使用できます。

ソフトウェアアップデートにコンプライアンスを適用することで、コストを制御し、インフラストラクチャーの安定性を促進できます。統合APIを使用することで、パートナー、開発者、およびユーザーは「HPEイメージストリーマー」にアクセスし、自由に価値を創出できます。さらに、より広範なエコシステムにより、操作とアプリケーションの統合、自動化、カスタマイズが可能となります。

#### <HPE Synergy 12000フレーム>

コンピュートモジュール、ストレージ及びファブリックのリソースの一元管理とコンポーザビリティを実現するため独自に開発されたインテリジェントなフレームです。「Infrastructure as Code(インフラストラクチャーのアプリケーションコード化)」により、統合されたコンピュティング、ストレージおよびファブリックリソースを管理し、必要に応じてインフラストラクチャーの構成及び再構成ができるようになります。

物理的なリソースが単一のフレーム上または互いに接続された複数のフレーム上のどちらに存在しようとも、システムはこれらすべてのリソースより構成することができます。「HPE Synergy12000フレーム」は、専用の単一で統合された管理ネットワークで構築され、複数のフレームがある場合はより大きなグループまたはドメインに拡大されます。

構成可能なドメインは、ビジネスの成長に合わせてビジネスおよびITの効率性を高める際に利用可能なリソースを増大させることで、新しい「規模の経済性」を提供します。

「HPE Synergy12000フレーム」は実装している自動検出機能を使用することにより複雑性を軽減し、ワークロードの配備・展開を加速するパフォーマンスを提供します。

主要モジュール、アダプター、フレームを含め、今回発表する製品は以下となります。価格は未定、販売開始は本年第2四半期以降を予定しています。

1. 「HPE Synergy 480 Gen9コンピュートモジュール」
2. 「HPE Synergy 620 Gen9コンピュートモジュール」
3. 「HPE Synergy 660 Gen9コンピュートモジュール」
4. 「HPE Synergy 680 Gen9コンピュートモジュール」
5. 「HPE Synergy D3940ストレージモジュール」
6. 「HPE FlexFabric 40Gb F8 スイッチモジュール」
7. 「HPE Synergyコンポーザー」
8. 「HPE Synergyイメージストリーマー」
9. 「HPE Synergy 12000フレーム」
10. 「HPE Synergy 3520C 10/20Gbコンバージドネットワークアダプター」
11. 「HPE Synergy 3830C 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター」
12. 「HPE Synergy 3530C 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター」
13. 「HPE Synergy 2820C 10Gbコンバージドネットワークアダプター」
14. 「HPE Synergy 3820C 10/20Gbコンバージドネットワークアダプター」
15. 「HPE パーチャルコネクト SE 16Gb ファイバーチャネルモジュール」
16. 「HPE パーチャルコネクト SE 40Gb F8 モジュール」
17. 「Brocade 16Gb ファイバーチャネル SAN スイッチ for HPE Synergy」
18. 「HPE Synergy 10Gb インターコネクトリンクモジュール」
19. 「HPE Synergy 20Gb インターコネクトリンクモジュール」
20. 「HPE Hyper Converged 250」

- 新製品に関する製品情報は、以下のURLを参照してください。  
「HPE Synergy」  
[www.hpe.com/jp/synergy](http://www.hpe.com/jp/synergy)
- 製品写真ライブラリ（画像データは以下のURLからご覧になれます。）  
<http://h50146.www5.hp.com/info/newsroom/library/hpe/>
- プレスルーム  
<https://www.hpe.com/jp/ja/newsroom.html>

# # #

文中の社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

- お客様からのお問い合わせ先  
カスタマー・インフォメーションセンター  
TEL: 0120-268-186（携帯、PHS: 03-5749-8279）  
ホームページ: <http://www.hpe.com/jp/>
-